

子育てにおける遊びの重要性を学ぶ

府市町村保健師協議会南部研修会



府市町村保健師協議会南部研修会は、1月28日（火）、府国保連合会で開催され、40名の保健師が集まった。西川会長による開会挨拶の後、来賓として府健康対策課の西垣課長が挨拶した。

長岡京市の東保健師は、「歯科健康教育の虫歯予防効果の評価 1歳3か月児教室で虫歯予防！！」、笠置町の政所保健師は、「通所型介護予防事業の取り組みについて～すこやか元気クラブ～」、綾部市の四村保健師は「ぷくぷくひろばを実施して」、福知山市の福井保健師は「胃部血液検査法を導入して～現状と課題～」と題して実践報告した。それぞれの報告に対して質疑応答もあり、また、京都大学医学部公衆衛生学教授の中原顧問は内容がまとまっていて良い発表であったと講評した。



京都造形活動研究所現代手づくり玩具館の村榮喜代子館長は「今子育てに何が求められているか～玩具館の活動を通して～」と題して講演を行った。実際に玩具館で行われている活動から、子どもの成長に対する遊びの重要性や遊びの要素などを示した。